

自：2021年4月1日～至：2022年3月31日

## ごあいさつ

初夏の日差しが爽やかな季節を迎え、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当金庫第99期の決算をご報告申し上げるにあたり、平素のご愛顧とお引き立てに対して、心より厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続きました。コロナワクチンの普及により幾分持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株による感染拡大により経済活動は長期間にわたり制約を受けました。また、エネルギー、物流、原材料などの供給制約等が景気回復の足かせとなりました。

このような状況下、当金庫は中小企業専門の協同組織金融機関として、コロナ禍により打撃を受けた取引先企業等を支援することが何より重要であるとの方針のもと、本部の経営支援担当部署の人員を増員するとともに、全店上げて取引先のモニタリングを継続的に実施し、企業の資金繰り支援や各種の課題解決支援に全力で取り組んでまいりました。

当期の業績は、預金は対前期5億65百万円増加し856億41百万円となり、貸出金は対前期3億15百万円減少し235億2百万円となりました。

損益面では、経常収益は、資金運用利回りが低下する中、有価証券による益出しは抑制することとしていたことなどから、対前期62百万円減少し7億93百万円となりました。一方、経常費用は、コロナ禍により景気が停滞する中、当金庫の自己査定において貸倒引当金が大幅に増加したことから、対前期6億57百万円増加し13億90百万円となりました。この結果、経常損失は5億97百万円となり、法人税等の税金を差し引いた当期純損失は5億80百万円となりました。

また、金融機関の安全性、健全性を示す自己資本比率につきましては、17.22%となり、国内基準4%を大きく上回っております。

信用金庫は、地域の事業者や市民の皆様を金融面から支え、地域経済の活性化に貢献していくことを使命とする協同組織金融機関です。このため当金庫は、日頃から取引先に寄り添いながらニーズの把握に努め、課題解決や収益力改善に向けた支援にも全力を傾注し、金融仲介機能の発揮に努めております。

社会・経済環境が大きく変化する中、当金庫は各種のリスク管理態勢の更なる充実を図りながら収益性向上に向けた取組みを強化し、引き続き取引先の本業支援等を通じて地域経済の活性化に貢献してまいります。

おわりに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2022年6月

理事長 松岡文雄

## 貸借対照表

第99期 2022年3月31日現在

単位：千円

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	1,449,945	預金積金	85,641,406
預け金	21,022,693	当座預金	1,899,730
買入金銭債権	126,667	普通預金	26,327,351
有価証券	45,390,392	貯蓄預金	63,300
国債	3,550,220	通知預金	204,742
地方債	3,362,329	定期預金	53,998,049
社債	24,943,555	定期積金	2,954,173
株式	201,875	その他の預金	194,058
その他の証券	13,332,412	借入金	385,000
貸出金	23,502,178	借入金	385,000
割引手形	113,425	その他負債	139,148
手形貸付	1,730,897	未決済為替借	16,481
証書貸付	21,024,031	未払費用	28,660
当座貸越	633,824	給付補填備金	2,627
その他資産	518,432	未払法人税等	712
未決済為替貸	13,679	前受収益	6,838
信金中金出資金	375,500	払戻未済金	95
前払費用	713	払戻未済持分	2,672
未収収益	91,270	職員預り金	38,090
その他の資産	37,269	リース債務	39,018
有形固定資産	772,407	その他の負債	3,953
建物	270,654	賞与引当金	13,826
土地	442,891	退職給付引当金	110,423
リース資産	39,018	役員退職慰労引当金	63,413
その他の有形固定資産	19,843	睡眠預金払戻損失引当金	1,046
無形固定資産	5,880	偶発損失引当金	2,862
ソフトウェア	4,488	債務保証	28,556
その他の無形固定資産	1,392	負債の部合計	86,385,683
繰延税金資産	68,567	出資金	138,465
債務保証見返	28,556	普通出資金	138,465
貸倒引当金	△1,460,883	利益剰余金	5,250,820
(うち個別貸倒引当金)	(△1,315,062)	利益準備金	138,431
		その他の利益剰余金	5,112,388
		特別積立金	5,351,000
		(うち事務合理化積立金)	( 80,000)
		(うち改築積立金)	( 230,000)
		当期末処理損失金	238,611
		会員勘定合計	5,389,285
		その他有価証券評価差額金	△350,129
		評価・換算差額等合計	△350,129
		純資産の部合計	5,039,156
資産の部合計	91,424,839	負債及び純資産の部合計	91,424,839

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

第99期〔2021年4月1日から  
2022年3月31日まで〕

単位：千円

科 目	金 額
経 常 収 益	793,366
資 金 運 用 収 益	707,634
貸 出 金 利 息	268,147
預 け 金 利 息	21,035
有 価 証 券 利 息 配 当 金	408,326
そ の 他 の 受 入 利 息	10,125
役 務 取 引 等 収 益	59,443
受 入 為 替 手 数 料	33,598
そ の 他 の 役 務 収 益	25,845
そ の 他 業 務 収 益	11,946
外 国 為 替 売 買 益	537
国 債 等 債 券 売 却 益	10,161
国 債 等 債 券 償 還 益	72
そ の 他 の 業 務 収 益	1,175
そ の 他 経 常 収 益	14,342
株 式 等 売 却 益	14,322
そ の 他 の 経 常 収 益	19
経 常 費 用	1,390,684
資 金 調 達 費 用	18,450
預 金 利 息	16,236
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	895
借 用 金 利 息	1,129
そ の 他 の 支 払 利 息	188
役 務 取 引 等 費 用	41,795
支 払 為 替 手 数 料	10,980
そ の 他 の 役 務 費 用	30,815
そ の 他 業 務 費 用	601
国 債 等 債 券 償 還 損	501
そ の 他 の 業 務 費 用	100
経 費	647,373
人 件 費	392,735
物 件 費	232,610
税 金	22,027
そ の 他 経 常 費 用	682,462
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	674,557
そ の 他 資 産 償 却	200
そ の 他 の 経 常 費 用	7,705
経 常 損 失	597,317
特 別 利 益	—
特 別 損 失	425
固 定 資 産 処 分 損	425
税 引 前 当 期 純 損 失	597,742
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	712
法 人 税 等 調 整 額	△18,138
法 人 税 等 合 計	△17,426
当 期 純 損 失	580,316
繰 越 金（当 期 首 残 高）	341,705
当 期 未 処 理 損 失 金	238,611

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 剰余金処分計算書

第99期〔2021年4月1日から  
2022年3月31日まで〕

科 目	金 額
当 期 未 処 理 損 失 金	238,611,052 <sup>円</sup>
積 立 金 取 崩 額	350,000,000
特 別 積 立 金（無 目 的）	350,000,000

これを次のとおり処分いたします。

剰 余 金 処 分 額	金 額
利 益 準 備 金	4,186,640 <sup>円</sup>
普 通 出 資 対 する 配 当 金（年 3.0%）	33,500
繰 越 金（当 期 末 残 高）	4,153,140
	107,202,308

以上のとおり報告いたします。

2022年6月

## 地域社会とともに発展していく 新湊信用金庫

理 事 長 松 岡 文 雄  
常 務 理 事 北 山 誠  
常 勤 理 事 川 田 幸 弘  
常 勤 理 事 竹 内 俊 尚  
理 事 鷲 北 昭 雄  
理 事 渡 孝 志  
理 事 下 保 隆

以上監査の結果適法かつ正確妥当であることを認めます。

常 勤 監 事 長 谷 祐 哲  
監 事 長 谷 川 修 博  
監 事 片 岡 幹 夫

(注) 監事 長谷川 修博は信用金庫法第32条第5項に定める  
員外監事であります。